

ちょっぴり上級者

J J I S X A / 池

まずは、復元ポイントの作成

レジストリエディターやパワーシェルを少しでも使って見る、レジストリの編集といったウィンドウズの内部を変更する操作には危険が伴うので、作業に入る前にバックアップが絶対必要だ、作業前に「復元ポイント」を作成しておけば、万一の場合、環境をそっくり復元できる。

復元ポイントの作成は、タスクバーの検索窓に「復元」と入力、「復元ポイントの作成」を選べば良い。

パワーシェル

普通は消せない標準アプリを裏技でアンインストール

Win10には、たくさんの標準アプリが搭載されているが、使わないものも多い、削除しようとしても「アンインストール」のメニューが用意されていないものもある、そんな時は「パワーシェル」の出番だ。

管理者権限でパワーシェルを起動し、アプリを見つけるためのコマンドの後に、対象のアプリのパッケージ名を入力、続けて、「| (←パイプ)」を入力、最後に、削除のためのコマンドを入れる。

PS C:WINDOWS\system32>Get-AppxPackage 「半角スペース」 パッケージ名 「半角スペース」 | 「スペース」 Remove-AppxPackageと入力して「Enter」キーを押す。

註：|←パイプは、「Shift」+「¥」キー

参照：対象アプリ名とパッケージ名

Peaple	Microsoft.Peaple
アラーム&クロック	Microsoft.WindowsAlarms
カメラ	Microsoft.WindowsCamera
スマホ同期	Microsoft.YourPhone
フォト ビデオエディター	Microsoft.WindowsPhotos
マップ	Microsoft.WindowsMaps
メッセージ	Microsoft.WindowsMessaging
問い合わせ	Microsoft.GetHelp

尚、「問い合わせ」以外のアプリは必要になったら「マイクロソフトストア」から再インストールできる。

パワーシェル

システムファイルチェッカーを利用してファイルの不足や破損を修復する

エラーが頻発するなどウィンドウズの調子が悪いと感じたら「システムファイルチェッカー」を試して見た方が良い、ウィンドウズのシステムファイルの不足や破損をチェックして修復する「裏ツール」だ、パワーシェルで実行する。

具体的には、次のコマンドを順番に実行する、前者が、修復に必要なファイルをウインドウズアップデートから取得する命令、後者が、実際に検査して修復する命令だ。

```
PS C:WINDOWS¥system32>に続けて、DISM「半角スペース」/Online「半角スペース」  
/Cleanup-image「半角スペース」/Restoreheals
```

次に、イメージのバージョン：10.0.18363.418

```
[-----100.0%-----]復元
```

操作は正常に完了しました

```
PS C:WINDOWS¥system32>に続けて、sfc「半角スペース」/scannowと入力したら  
「Enter」キーを押せば、ファイルに問題があれば修復される。
```

レジストリエディター

ウイン7の「フォトビューアー」を10上に復活

復元ポイントの作成が終わったら、早速、レジストリエディターを使って見る、ウイン10標準の画像アプリは「フォト」で高度な編集機能を備えているが、その分起動や動作が遅い、軽快な動きをするウイン7の「フォトビューアー」の方が良かったと思っている人は少なくないのでは無いか、そこで、レジストリの編集の裏技で10上に「フォトビューアー」の復活だ。

レジストリエディターを起動し、フォルダーツリー「HKEY_CLASSES_ROOT」→「Applications」→「Photoviewer.dll」と辿って「shell」を右クリック、「新規」→「キー」を選択すると、「shell」の下に「新しいキー#1」ができるので、名前を「open」に書き換え、作成した「open」を右クリック、「新規」→「文字列値」を選択、画面右横に「新しい値#1」ができるので、名前を「MuiVerb」に書き換えてダブルクリック、開く画面の「名前のデータ」欄に

「@photoviewer.dll,-30431」と入力して「OK」を押す。

先程作成した、「open」を右クリック、「新規」→「キー」を選択、「open」の下に「新規キー#1」ができるので、名前を「command」に書き換えて選択、画面右側の「(規定)」をダブルクリック、開く画面の「値のデータ」欄に、

%SystemRoot%System32¥rundll32.exe「半角スペース」 "%ProgramFiles¥Windows「半角スペース」Photo「半角スペース」Viewer¥Photo Viewer.dll",「半角スペース」ImageView_Fullscreen「半角スペース」%1」と入力、上記同様の手順で、「open」の下に新規キーを出して、「DropTarget」を作成して右クリック、「新規」→「文字列値」を選択、画面右に「新しい値#1」ができるので、名前を「CLSID」に書き換えてダブルクリック、開く画面の値のデータ欄に、

{FF2A43C-56B9-4b15-9A79-XX6D4285608A}と入力、これでOK。

写真を右クリックし、「プログラムから開く」→「別のプログラムを選択」と辿り、画面下に現れる「その他のアプリ↓」をクリックすると「Windowsフォトビューアー」が表示されるので選択する、「常にこのアプリを使って…」をチェックして「OK」を押すと、フォトビューアーが既定のアプリになる。